別紙

【規格】

１　A４判表紙・裏表紙４ページを含め全４０ページを作成する。

２　写真の解像度は３５０dpi以上、線画は1200dpi以上とする。

３　表紙・裏表紙4ページ：コートA判８６．５㎏、本文３６ページ：マットコートA判４４．５ｋｇとする。

４　両面４色刷（フルカラー）とする。

５　中綴じ製本を行う。

６　再生紙及び植物インキを使用する。

７　校正は３回以上、色校正は1回以上行う。

８　１００部毎に箱詰めすること。

箱には正面と両側面に内容物と部数を記載したシールを貼り、５０部ずつ紐がけし、リーフレットが傷まないよう紙で保護すること。

【掲載内容】

１　表紙デザイン　【p1、１頁分】

和歌山県が誘致する体験型の教育旅行ガイドブックであることが明確な表紙とし、特徴的な体験プログラムの写真や和歌山県内の風景の写真等を入れ、インパクトがあるデザインとすること。現行ガイドブックに記載している９つのテーマ及びSDGｓを学べることを明確にすること。

２　和歌山の地図、目次、セールスポイント【p2-p3、２頁分】

和歌山県地図、目次、セールスポイントを和歌山県教育旅行における代表的な体験や風景等の写真を併せて掲載すること。セールスポイントは3点程度にまとめること。そのうち一点はSDGｓとすること。

３　代表的な教育旅行プログラムの紹介【p4-p7、４頁分】

現行ガイドブックに記載している９つのテーマについて、１頁あたり１～３件程度を写真入りで、教育的効果とともに紹介すること。各テーマ毎に関連するSDGｓのロゴを掲載すること。関連団体や施設にインタビューを行い、担当者の写真とともに紹介文を掲載すること。

４　県内各エリア毎の紹介（紀南・紀中・紀北の３エリア）

各エリアについて、地図上に体験場所、観光スポット、駅等その他主要ポイントを示し、地域を印象づける写真を活用し、分かり易く紹介すること。関連団体や施設にインタビューを行い、担当者の写真とともに紹介文を掲載すること。ガイドブックの中心となるので、一番PR効果が高くなるようにすること。

(1) 各エリア全体概要【p8-p9、２頁分】

県全体地図、全国主要都市からのアクセス、県内移動所要時間の目安、各エリア毎の強みを写真や図を用いて分かりやすく紹介すること。県内の日本遺産についても簡単に紹介すること。

(2) 紀南エリアの紹介【p10-p15、6頁分】

※西牟婁、東牟婁を中心とした地域

①　エリア地図の表示

（観光拠点、主要都市からの所要時間、集合写真ポイントを紹介）

②　エリアを代表するお勧め体験プログラムを４つ程度選び、その流れについて写真を用いながら詳しく説明

③　雨天時の代替えプログラムの表示

④　上記以外の体験プログラムを８つ程度紹介

⑤　各協議会の問い合わせ先の表示

⑥　「水の国、わかやま。」キャンペーンの簡単な紹介

(3) 紀中エリアの紹介【p16-p21、6頁分】

※有田、日高を中心とした地域

①　エリア地図の表示

（観光拠点、主要都市からの所要時間、集合写真ポイントを紹介）

②　エリアを代表するお勧め体験プログラムを４つ程度選び、その流れについて写真を用いながら詳しく説明

③　雨天時の代替えプログラムの表示

④　上記以外の体験プログラムを８つ程度紹介

⑤　各協議会の問い合わせ先の表示

(4) 紀北エリアの紹介【p22-p27、６頁分】

※和歌山市、海草、那賀、伊都を中心とした地域

①　エリア地図の表示

（観光拠点、主要都市からの所要時間、集合写真ポイントを紹介）

②　エリアを代表するお勧め体験プログラムを４つ程度選び、その流れについて写真を用いながら詳しく説明

③　雨天時の代替えプログラムの表示

④　上記以外の体験プログラムを８つ程度紹介

⑤　各協議会の問い合わせ先の表示

５　県内モデルコースの紹介【p28-p29、２頁分】

県内での１泊２日のモデルコースを６つ以上作成し、図、写真等により分かりやすく紹介すること。そのうち２つ以上は生徒が公共交通機関等を利用し、主体的に行動する班別研修のモデルコースを紹介すること。

６　民泊体験の紹介【p30、１頁分】

民泊体験の流れを図、写真等により分かりやすく紹介すること。また県内の民泊体験可能エリアを４つ程度を写真とともに紹介すること。そのうち１つの担当者にインタビューを実施し、写真とともに紹介文を掲載すること。

７　民宿分宿の紹介【p31、１頁分】

民宿分宿の流れを図、写真等により分かりやすく紹介すること。また県内の民宿分宿可能エリアを３つ程度を写真とともに紹介すること。そのうち１つの担当者にインタビューを実施し、写真とともに紹介文を掲載すること。

８　受入れ支援の紹介【p32-p33、２頁分】

県及び各市町村における教育旅行受入支援（プランニング支援、下見支援、事前学習、各市町村実施支援）を紹介すること。県と各市町教育旅行誘致組織（１０組織程度）の受入体制、安全対策、新型コロナウイルス感染対策について紹介すること。

９　体験プログラム紹介【p34-p39、６頁分】

教育旅行向けの体験プログラムの詳細（開催地、体験名、実施可能時期、所要時間、受入可能最大人数、準備物、問合せ、雨天時の対応等）を分かりやすく一覧で紹介すること。また、ジャンル（自然観察体験、スポーツ体験、生活文化体験、農林漁業体験、歴史文化体験）別にアイコンを作成し、適切な頁に掲載すること。なお、掲載情報は県が提供する。

10 裏表紙デザイン【p40、１頁分】

各市町教育旅行誘致組織連絡先、和歌山県内保健所連絡先、和歌山県内緊急連絡先、和歌山県教育旅行ホームページの紹介を掲載すること。